

交付運用報告書

損保ジャパン外国債券ファンド

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2017年7月19日～2018年7月17日

第18期 決算日：2018年7月17日


受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、日本を除く世界各国の公社債を実質的な主要投資対象とし、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）を中長期的に上回る投資成果を目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第18期末 2018.7.17

基準価額	12,570円
------	---------

純資産総額	3,229百万円
-------	----------

騰落率※	△1.3%
------	-------

期中分配金合計	0円
---------	----

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<http://www.sjnk-am.co.jp/>

にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
 お問い合わせ先：クライアントサービス第二部

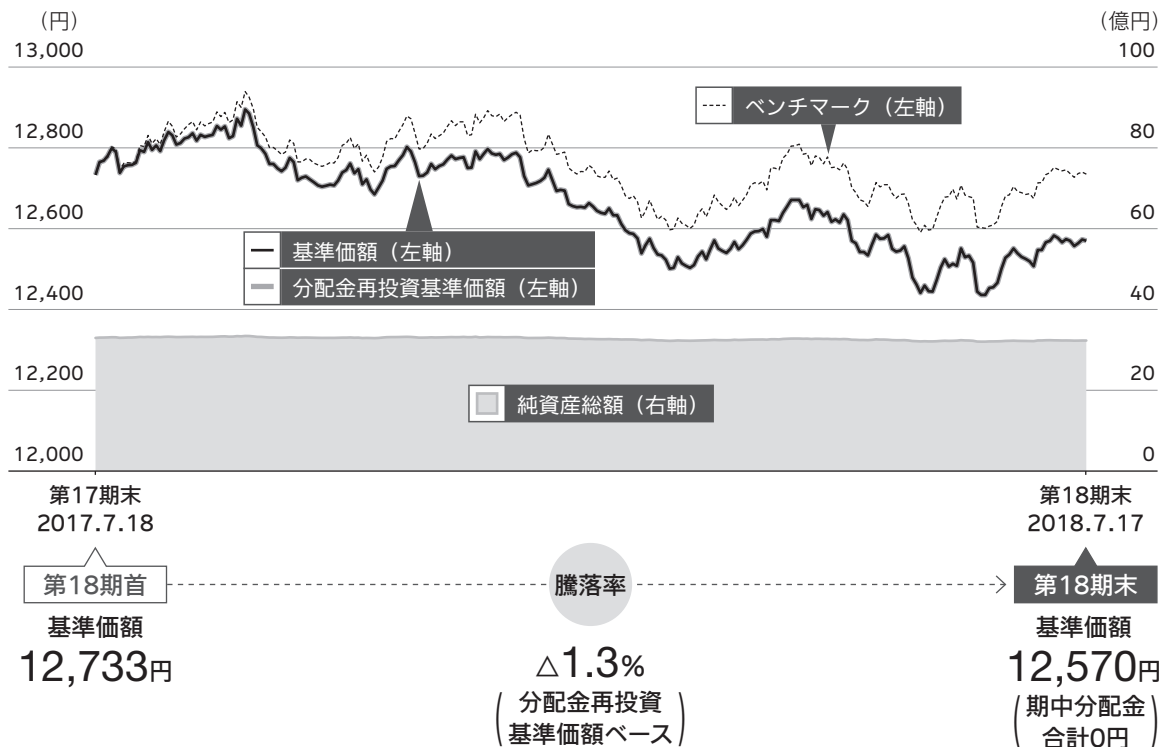
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）



0120-69-5432

運用経過

● 基準価額の推移



基準価額の推移

- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク (FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ヘッジ・円ベース)) の推移は、2017年7月18日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

● 基準価額の主な変動要因

損保ジャパン外国債券ファンド

マザーファンドで保有している米国債券の利回りが上昇（価格は下落）したことを主因に、基準価額は下落しました。

損保ジャパン外国債券マザーファンド

期中の騰落率は－0.3%となりました。

米国債券利回りが上昇（価格は下落）したことを主因に基準価額は下落しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

期中の総費用率は **1.020%** です。

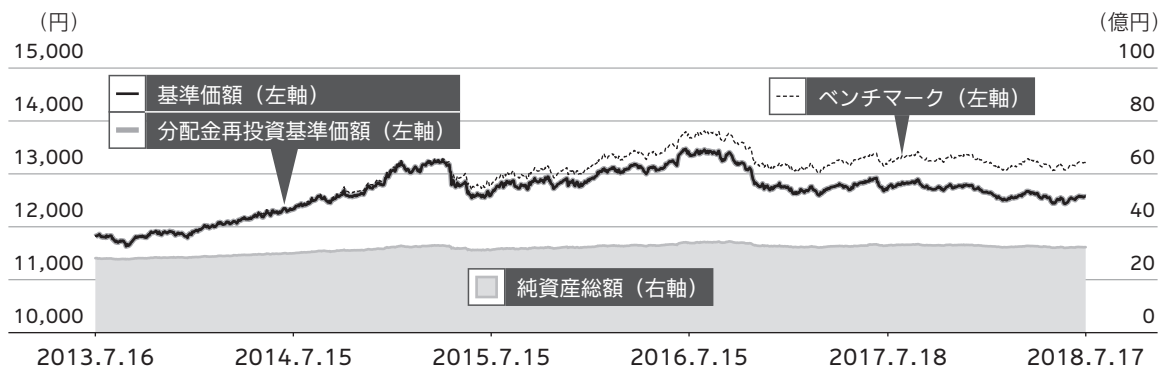
項目	第18期 2017.7.19~2018.7.17		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	123円	0.968%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">期中の平均基準価額は12,661円です。</div>
（投信会社）	（ 47）	（0.372）	ファンドの運用の対価
（販売会社）	（ 69）	（0.543）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（ 7）	（0.054）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	7	0.052	(b)その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	（ 6）	（0.046）	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	（ 1）	（0.004）	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	（ 0）	（0.002）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	129	1.020	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

● 最近5年間の基準価額等の推移 2013.7.16~2018.7.17



- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース））の推移は、2013年7月16日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

決算日		2013.7.16 決算日	2014.7.15 決算日	2015.7.15 決算日	2016.7.15 決算日	2017.7.18 決算日	2018.7.17 決算日
基準価額	(円)	11,815	12,331	12,605	13,387	12,733	12,570
期中分配金合計（税引前）	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率	(%)	—	4.4	2.2	6.2	△ 4.9	△ 1.3
ベンチマーク騰落率	(%)	—	4.7	3.4	7.3	△ 3.7	0.0
純資産総額	(百万円)	2,813	2,999	3,124	3,394	3,295	3,229

- ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）です。

指数に関する詳細は15ページをご参照ください。▶

● 投資環境

○米国債券市場

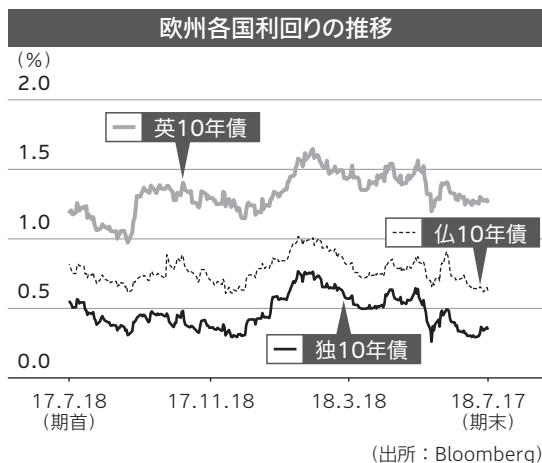
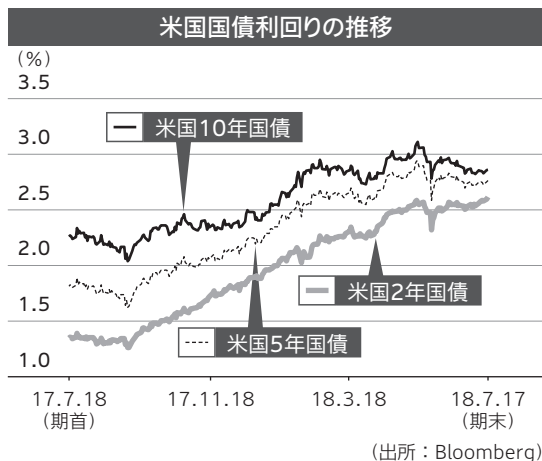
当期の米国10年債利回りは、上昇（価格は下落）しました。

米国10年債利回りは、米国景気が堅調に推移する中、FRB（米連邦準備理事会）が利上げとバランスシート圧縮を継続したことや、原油高によるインフレへの警戒感や財政悪化懸念の高まりを受けて上昇しました。期初に2.2%台であった利回りは、期末には2.8%台となりました。

○欧州債券市場

当期のドイツ10年債利回りは、低下（価格は上昇）しました。

期初に0.5%台であったドイツ10年債利回りは、ECB（欧州中央銀行）の金融政策正常化観測の高まりや米国債券の利回り上昇を背景に、2月にかけて0.7%台まで上昇しました。しかし、その後は、世界的な株価下落やイタリア等の政治不安を受けて市場のリスク回避姿勢が強まったことや、ECBが利上げに対して慎重な姿勢を示したことから、利回りは低下し、期末には0.3%台となりました。



● 当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドの運用については、損保ジャパン外国債券マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。

損保ジャパン外国債券マザーファンド

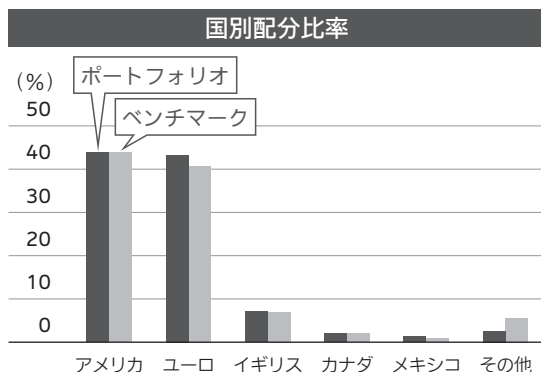
期を通して債券の組入比率は概ね高位に維持しました。

■ 国別配分

ユーロ圏の国別配分戦略を中心に、相場動向に合わせて、ポジションを機動的に変更しました。

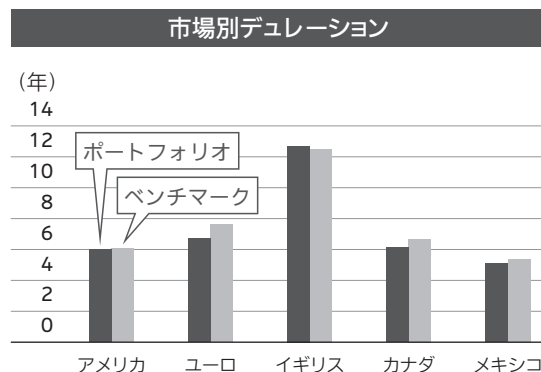
■ デュレーション・残存期間構成戦略

デュレーション戦略は、米国と欧州を中心に相場動向に合わせて、機動的にポジションを変更しました。



注1. ポートフォリオは、マザーファンドにおいてキャッシュポジション等を考慮しない国別配分比率です。

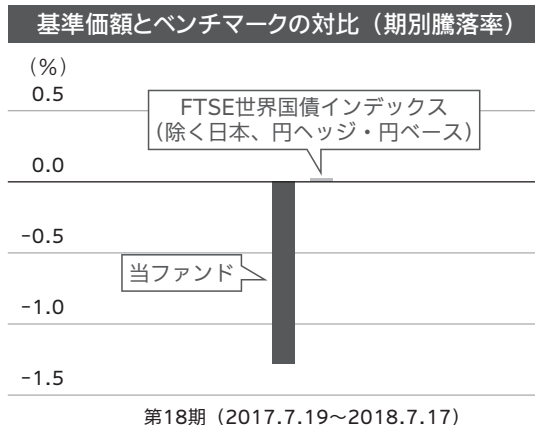
注2. ポートフォリオは当期末時点、ベンチマークは2018年6月末時点の数値を使用しております。



注. ポートフォリオは当期末時点、ベンチマークは2018年6月末時点の数値を使用しております。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドの騰落率（分配金再投資基準価額ベース）は、ベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース））の騰落率（+0.0%）を1.3%下回りました。当ファンドは期を通じて「損保ジャパン外国債券マザーファンド」を高位に組み入れていましたので、以下ではマザーファンドとベンチマークとの差異の要因分析についてご説明いたします。



損保ジャパン外国債券マザーファンドとベンチマークとの差異

マザーファンドの騰落率は、ベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース））の騰落率（+0.0%）を0.3%下回りました。

主に欧州のショートデュレーション戦略がマイナス要因となりました。

● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、当期は分配を行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第18期 2017.7.19~2018.7.17
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,302

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

● 今後の運用方針

損保ジャパン外国債券ファンド

今後の運用におきましても、マザーファンド受益証券の組入水準を高位に維持することで、信託財産の着実な成長を目指します。

損保ジャパン外国債券マザーファンド

国別配分戦略は、ユーロ圏の国別配分戦略を中心に、相場動向に合わせて、ポジションを機動的に変更し、収益機会を増やす方針とします。

デュレーション戦略は、米国と欧州を中心に相場動向に合わせて、ポジションを機動的に変更し、収益機会を増やす方針とします。

● お知らせ



信用リスク集中回避のための投資制限に関する記載を追加するため、投資信託約款に所要の変更を行いました（2017年10月2日）。

公告の方法を「日本経済新聞に掲載」から「電子公告」へ変更するため、投資信託約款に所要の変更を行いました（2018年1月15日）。

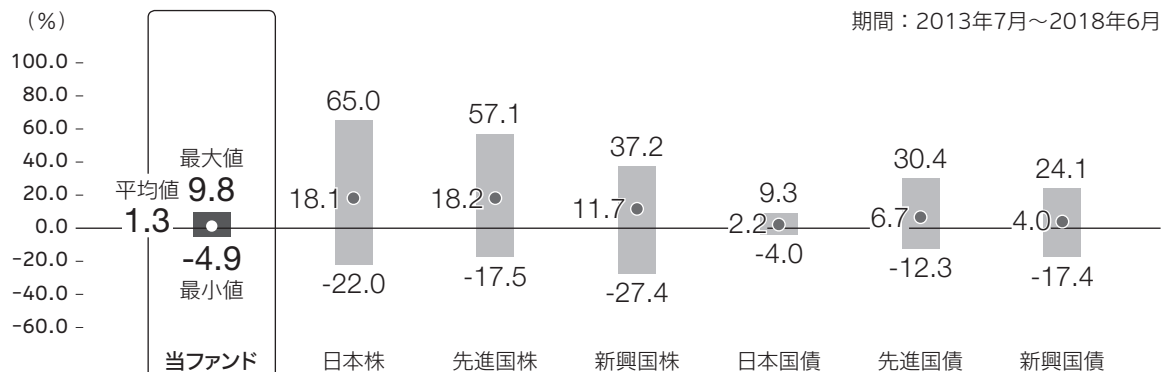
受益者の利便性向上のため、投資信託約款の「資金の借入額の限度に関する記載」の変更を行いました（2018年1月15日）。

ベンチマークの名称がシティ世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）からFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）に変更となったことに伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました（2018年2月2日）。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限
運用方針	中長期的に信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	<p> 損保ジャパン外国債券ファンド 「損保ジャパン外国債券マザーファンド」 受益証券</p> <p> 損保ジャパン外国債券マザーファンド 日本を除く世界各国の公社債</p>
運用方法	<p>① 日本を除く先進各国の政府、政府機関等の発行する外国債券を中心に分散投資を行い、国内債より相対的に高いインカムの確保をはかるとともに金利低下や格付上昇に伴うキャピタルゲインの獲得を狙います。運用にあたっては、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）を中長期的に上回る投資成果を目指します。</p> <p>② 投資対象国は、原則としてA格相当以上の長期債格付が付与された国とし、FTSE世界国債インデックス採用国を中心とします。</p> <p>③ 実質組入外貨建資産については、為替変動リスクを回避するため、対円で原則100% 為替ヘッジを行います。</p>
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>① 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子、配当収入および売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して、決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は分配を行わないことがあります。</p>

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金 (税引前) 再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は15～16ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

● 当該投資信託の組入資産の内容

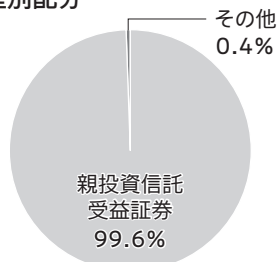
※ 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

	第18期末 2018.7.17
損保ジャパン外国債券マザーファンド	99.6%

注. 比率は第18期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第18期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第18期末 2018.7.17
純資産総額	3,229,918,271円
受益権総口数	2,569,608,005口
1万口当たり基準価額	12,570円

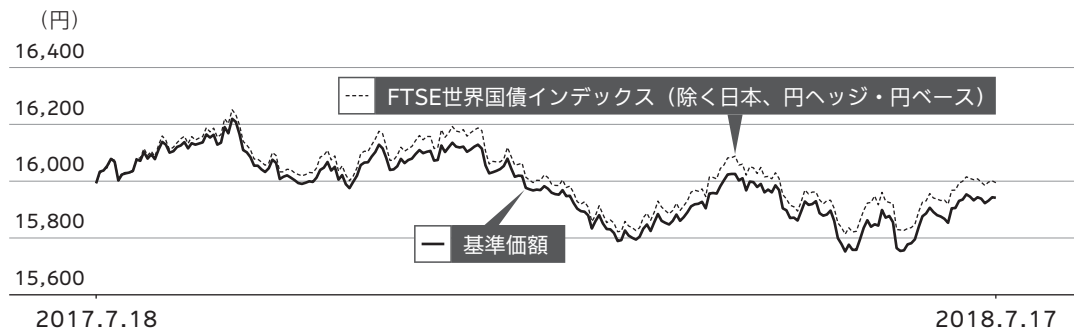
※ 当期中における追加設定元本額は121,690,551円、同解約元本額は139,996,957円です。

● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過および全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

損保ジャパン外国債券マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース））の推移は、2017年7月18日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

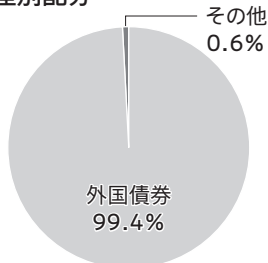
1万口当たりの費用明細

項目	2017.7.19~2018.7.17
その他費用	8円
(保管費用)	(7)
(その他)	(0)
合計	8

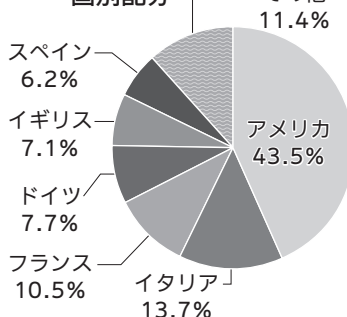
組入上位10銘柄

銘柄名	債券種類	通貨	償還日	比率
1 US TREASURY N/B 1.875% 2022/02/28	国債証券	アメリカ・ドル	2022/2/28	9.1%
2 US TREASURY N/B 2.25% 2020/02/29	国債証券	アメリカ・ドル	2020/2/29	8.4%
3 BUNDESUBL-175 0.0% 2022/04/08	国債証券	ユーロ	2022/4/8	7.2%
4 US TREASURY N/B 1.25% 2019/06/30	国債証券	アメリカ・ドル	2019/6/30	6.1%
5 US TREASURY N/B 2.125% 2024/02/29	国債証券	アメリカ・ドル	2024/2/29	5.7%
6 US TREASURY N/B 2.75% 2028/02/15	国債証券	アメリカ・ドル	2028/2/15	3.9%
7 BTPS 1.35% 2022/04/15	国債証券	ユーロ	2022/4/15	3.9%
8 FRANCE O.A.T. 0.0% 2022/05/25	国債証券	ユーロ	2022/5/25	3.2%
9 BTPS 2.2% 2027/06/01	国債証券	ユーロ	2027/6/1	3.2%
10 US TREASURY N/B 2.75% 2025/02/28	国債証券	アメリカ・ドル	2025/2/28	2.5%
組入銘柄数		104銘柄		

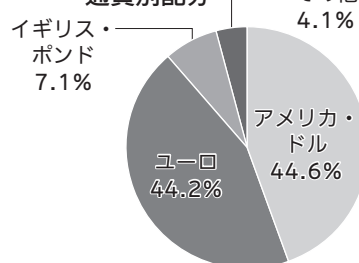
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については3ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2018年7月17日）現在のものです。資産別配分および国別配分のその他には、現金等が含まれます。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 指数に関して

当ファンドのベンチマークである「FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」について

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時(1968年1月4日終値)の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数(TOPIX)は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■ MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ NOMURA-BPI国債

野村証券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村証券株式会社に帰属します。野村証券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

損保ジャパン外国債券ファンド

検索

<http://www.sjnk-am.co.jp/fund/0882/price.html>

交	交付目論見書 (2018.04.13)	運交	交付運用報告書 (2017.07.18)	休	海外休業日 (申込不可日) 2018年
請	請求目論見書 (2018.04.13)	運全	運用報告書 (全体版) (2017.07.18)		
		月	最新月次レポート (2018.06.29)		

各書類の最新版をご確認いただけます。

交

交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交

交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

休

海外休業日 (申込不可日)

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請

請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

運全

運用報告書 (全体版)

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

月

最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。